

＜石川＞吉野谷線鉄塔建替工事に係るヘリコプターからの  
資機材カバーの落下の原因および再発防止対策

北陸電力株式会社  
中日本航空株式会社

7月16日に小松市池城町地内の山中で発生したヘリコプターによる運搬作業中に資機材を包むカバーが落下した事象について、調査の結果、推定原因および再発防止対策を取りまとめましたので、お知らせします。

7月16日、14時30分頃、吉野谷線鉄塔建替工事のため、中日本航空株式会社がヘリコプターによる運搬作業を行っていたところ、資機材を包むカバー（約2kg）が落下しました。その後、石川県小松市池城町地内の山中で落下物を発見し、現場調査を行ったところ、けが人や設備の損壊等がないことを確認しました。

（2019年7月16日、7月17日お知らせ済み）

## 1. 推定原因

ヘリコプターで運搬する資機材の両端に抜け防止のカバーを付けた際、カバー同士をロープで連結するべきところ、現場作業員の判断により連結しませんでした。その結果、風圧でカバーが外れて落下しました。

## 2. 再発防止対策

- ・ 抜け防止策として、ネット状の梱包材で資機材全体を覆う。全体を覆うことが困難な場合は、両端にネット状のカバーを巻き付け、カバー同士の連結を徹底する。
- ・ 現場作業員は、今回の再発防止対策を含むヘリコプター運搬での資機材荷造り時の作業手順を遵守する。
- ・ 北陸電力は、ヘリコプター運搬に係わる作業員全員に再発防止教育を実施する。また、運搬時に資機材の荷造り方法が再発防止対策どおり確実に実施されていることを確認する。

この度は、地元の皆さまをはじめ関係の方々にはご心配・ご迷惑をおかけし、お詫び申し上げます。

北陸電力および中日本航空は、今後同様な事象を起こさないよう再発防止に努めてまいります。

以 上